

おさなりの説得↓予想通りの失敗

【佐賀新聞2013年9月10日】  
工事見送り 漁業者らため息 諫早湾  
堤防

国営諫早湾干拓事業の開門調査に  
向けた準備工事は9日、地元住民や干  
拓地の営業者らの抗議で着手されな  
かった。開門調査を求める原告弁護団  
は「国の説得は形式的で、本気が感  
じられない。予想通りの結果」と失望。  
佐賀県の漁業者は「福岡高裁で確定し  
た12月の開門期限は守ってほしい」  
とため息交じりに話した。

「判決から3年近く、国は何をやっ  
てきたのか」。原告弁護団の堀良一事  
務局長は怒りをあらわにした。長崎県  
や地元住民が工事説明会にも出席し  
ない行き詰まった状況に、「今こそ第  
三者の裁判所を交えた協議をすべき」  
とあらためて提言した。

古川康知事は「工事着手で、開門調  
査の道筋が見えてきたと思っていた  
ので残念。引き続き、期限内に間に合  
うように取り組んでほしい」と要望。  
有明海協の草場淳吉組合長は「われ  
われもノリ漁期の12月開門を苦渋  
の決断で容認したのに…。残念でなら  
ない」と肩を落とした。

佐賀市川副町のノリ漁業者の川崎  
賢朗さんは「国は、開門調査の内容や

日程をいまだに示していない。ただ  
開ければいいのではなく、有明海再  
生につなげるのが重要なのに」と  
指摘。開門の実施だけが取り沙汰さ  
れ、本質的な議論がなされない不安  
を口にした。

【読売新聞・佐賀2013年9月10  
日】  
漁業者ら「展望みえない」と国を批判  
諫早干拓

国営諫早湾干拓事業(長崎県)の  
潮受け堤防排水門の開門調査問題  
で、国と有明海沿岸の漁業者らとの  
意見交換会が13日、熊本市内で開  
かれた。福岡高裁が国に命じた12  
月の開門期限が迫る中、国が干拓地  
周辺で農業被害などを防ぐ事前対  
策工事にも着手できない事態に、開  
門を求める漁業者や開門請求訴訟  
の原告弁護団らは「今後の展望がみ  
えない」と厳しく批判した。

意見交換会には、国側から農林水  
産省九州農政局の吉村警局長ら開  
門調査の担当者約10人が出席。弁  
護団や佐賀、長崎県の漁業者らは、  
今後の工事の見通しについて問い  
た。だした。

国は今年9日、開門に向けた事前  
対策工事に着手しようとしたが、開  
門に反対する長崎県諫早市の住民  
らの抗議行動を受け、着工を見送っ  
た。

これに対し、馬奈木昭雄・弁護団  
長は「誰がやっても反対されるよう  
な手法をやって、予想通り反対され  
た。抵抗されるのは前から分かって  
いたはずだ」と糾弾、弁護団の堀良  
一事務局長も「全く展望がないし、  
国側に開門する気が見えない」と批  
判した。国側は終始、「今回の状況  
を踏まえ、粘り強く説得したい」な  
どと回答した。また、「開門調査  
に間に合うための」工事期限はいつ  
か」との弁護団からの質問に対して  
は、「工事の方法によって伸縮する」  
と従来の主張を繰り返し、期限に間  
に合うとの認識を示した。



アオコを吸収して緑に染まったクラゲ！？

調整池のアオコが小長井に漂着！

今年も諫早湾干拓調整池内で、有  
毒な種類を含むアオコが大発生し、  
大量の排水とともに諫早湾内へ流れ  
出した。

初夏に発生し、7月に入ると急速  
に拡大し始めた調整池内のアオコ  
は、排水ポンプや水位調整のための  
大量排水にもなつて諫早湾内に  
流れ出した。

7月24日のNBCニュースに  
よれば、「諫早湾干拓から3キロほ  
ど離れた諫早市小長井町の海岸や  
港などに流れ着きました。アオコの  
量は多く、港の奥まった場所の海面  
はベットリとしたアオコに覆われ  
ていました。アオコが小長井まで流  
れ着くようになったのは一昨年ぐ  
らいからで、今年初めて。」との  
ことで、小長井の漁業者・松永秀則  
さんは、「このアオコの中にミクロ  
シスチンとか、いろんな毒物が入っ  
ているという話も聞いていますし、  
やっぱりそういうのが海産物に混  
じるのが一番怖いんですね。」と  
述べた。また、同漁業者・山口富徳  
さんは、「一番心配していることは  
どんなことですか？」との記者の質  
問に対し、「やっぱり出荷ですよね。  
みなさんがそういう毒性があるん  
だったらもう買わないという風にな  
った時には私達は一番困るわけ  
です」と述べた。

同月25日には、諫早市内の水の  
浦港で、アオコを吸収して消化器官  
が真緑に染まったクラゲも発見さ  
れた。

アオコは淡水域で発生する藻類  
で、人体に有害なミクロシスチンと  
いう毒物を産出する種類もあるが、  
常時開門により海水が導入されれ  
ば発生を確実に防止できる。